

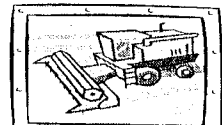
# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouheiwah-kouhei.org



みなさん、こんにちわ。もうすぐ夏ですが、八月になると来年度予算の話が始まります。財政再建のためには税金のムダ遣いを徹底的に見直していかなければなりません。少し気が早いですが、夏を前に税金のムダ遣いを巡る怪談を一席。

## ★ 中断されない干拓事業

今年一月、佐賀地方裁判所が諫早湾干拓事業(長崎県)の工事差し止めを命令しました。ところが工事はまだ続いていきます。怪しいですね。潮止堤防の上を通る道路を近くの国道に接続する工事です。干拓事業全体が工事差し止めの命令を受けたのに、道路は造り続けています。合点がいきません。農水省によれば、その道路は「ふるさと農道」という道路で、干拓事業とは別の事業だから中断しないでいいそう

です。しかし、将来、仮に潮止堤防を元の状態に戻すという判断が下される場合、これから造る「ふるさと農道」もムダになります。干拓事業が中断された以上、この道路の工事もしばらく中断するのが合理的ではないでしょうか。それにしても、干拓事業とは別の事業だから裁判所の命令に従わなくていいという理屈、まったくため息が出ます。こういう対応が税金のムダ遣いを生み出し、年金や医療や教育の財源を不足させる一因になっています。

## ★ 幽霊道路

もっと怪しい話があります。実は、潮止堤防の上を通る道路は既に国道とつながっています。それをまた造るといのはどういうことでしょうか。あつちにもこつちにも同じ道路があるなんて、何だか幽霊のようなです。まさしく怪談。

なんと、既に完成している道路は国道との接続箇所がガードレールで閉鎖されています。なぜでしょうか。農水省によると、既に完成している道路は国土交通省の定める基準に少しだけ抵触するので使えないそうです。だからこの道路を使わずに迂回路を建設します。迂回路というぐらいですからグルッと回る長い道路です。しかし、現地の写真をみるかぎり、幽霊道路は普通の道路、いやむしろ立派な道路です。まったく困ったものです。

連休前の参議院財政金融委員会、谷垣財務大臣に「この話を聞いてどう思いますか」と質問しました。「いや、不思議なことですね」という反応でしたが、谷垣さん、国民の税金を預かる大臣なんですから、しっかりしてください。この話題、来月も続編をお伝えします。

# 覚王山ぞぞこナ

(タイトル文字は書家・山内美鳳さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——

<今回は、「魚勝(うかつ)」さんです>

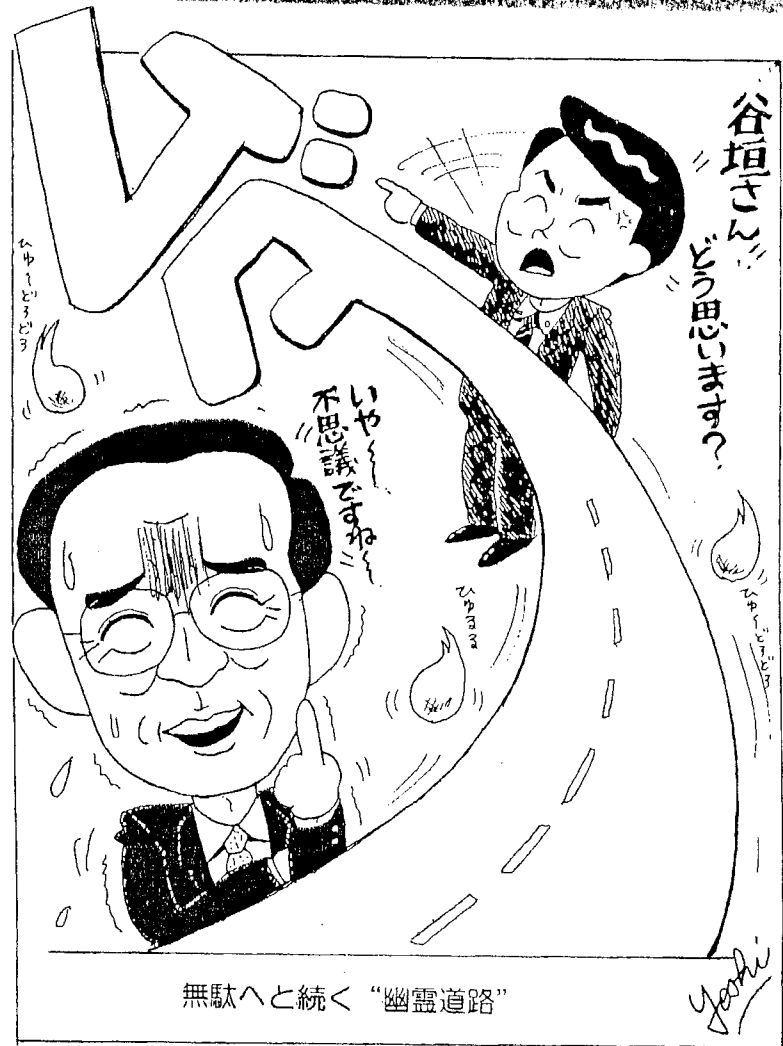
魚勝さんは、覚王山交差点南側、ローソン奥の覚王山食品市場内にあります。

お刺身、調理用のお魚、貝類などがきれいに並ぶ魚勝さん。その仕入れ方針を山田正人店長に聞くと「自分が素直に食べたいと思えるものを仕入れる、そうじゃなくちゃお客様に勧められない」ときっぱり。お客様も安心して買い物ができるわけです。

ふと目を引くのは、お魚やさんには珍しいお惣菜の数々。これらはもちろん自家製で、**家庭で使う材料、家庭で使う調味料にこだわった家庭の味そのもの**。店長のお母様が作るまさに「おふくろの味」であり、このお惣菜を求め、わざわざ遠方から来るお客様も多いのだとか。

お店の方の真心がこもった鮮魚とお惣菜の店、こんな魚勝さんの存在は、我々消費者にとってとても有り難いものですね。

魚勝：052-751-3343 (日曜定休)



無駄へと続く“幽霊道路”